



特定非営利活動法人 **アイユーゴー通信** 第 23 号

〒590-0432 大阪府泉南郡熊取町山の手台 1-22-10

TEL / FAX: 072-452-5680

e-mail : aiyugo1015@gmail.com / snittaskmj0715@yahoo.co.jp

homepage : <http://aiyugo.fc2web.com>

目 次

- (1) ごあいさつ
- (2) 安全な水が飲める
- (3) マダガスカルは90%が禿山(ハゲヤマ)?
- (4) 植樹した住民たちの声
- (5) ハジャ氏近畿大学医学部で講義
- (6) 2014 年度 特定非営利活動に係る事業会計
収支計算書(平成 26 年 4 月 1 日~平成 27 年 3 月 31)



ごあいさつ

新田幸夫

いつも大変お世話になります。アイユーゴーの事業にご関心をもつていただき心よりお礼申し上げます。このたびは、「通信」をお届けすることが遅くなり申し訳ありません。

さて、平成 26 年 4 月から 27 年 3 月まで行った事業は、マダガスカル の 2 事業です。一方、現地の状況を鑑みながら推移しているラオス・タイ・ベトナムの事業に関しては、次のとおりであります。ラオスに関してはサバナケート県サイフウトン村で数年前に建造した井戸が故障し新たな井戸建設の協力。タイでは、メーホンソン県パンマパー地区のコーヒー事業は現地での企業化に向けた体制作りをしている状況です。ベトナムでは、農業支援センターでは野菜などの栽培などを行っています。さらに、次年度に医療・福祉の 4 カ国合同セミナーをすることにしました。さて、マダガスカル の 2 事業の報告をさせていただきます。



マダガスカル の二つの地域で、(公財) 日本国際協力財団様、国土緑化推進機構様、(一財) ひろしま・祈りの石国際教育交流財団様から助成金をいただき活動を行っております。順に、井戸・トイレ、植栽、小・中学校の校舎を建設しています。平成 26 年度は、日本国際協力財団様、国土緑化推進機構様からの助成金で活動しました。その活動を写真でご紹介いたしましょう。



安全な水が飲める

川の水には何が入っているかわからないから、「川の水を沸かして飲んでも同じよ。だからそのまま飲んでよ。」と村の住民が話していました。洗濯物を入れた桶や水桶を頭にのせて優雅に歩く女性の写真を見て、のどかな風景だな



と、マダガスカルに入る前は、思っていました。確かにのどかな自然のなかで、時間に追われるわけではなく、家族みんなが協力し合い、何不自由なく、のんびりと生活をしている、と思いました。しかし、現地に入ってみれば、電気はなく、水道はなく、トイレもないのです。日本で普通にあるものがないのです。事業地は、マダガスカル共和国の北部、アラトラ・マンゴロ省のアンボヒダヴァ村です。



アンビ氏による歯磨き指導

この事業は、「健康に強い村づくり」の一環として井戸・トイレの建設と写真にあるように子供たちに手の洗い方、爪の切り方などを教え、健康にまた衛生に気を付けるよう啓蒙することです。今では、小学校の先生たちは毎朝、家庭でどの程度手洗いをし、爪切りをしているかその状況などを調べるようにしています。



本会理事昆布孝子氏から爪切り、パンフ、絵本が子供たちに寄贈されました。保管はTAKAKO(孝子)文庫に。(写真右下) 左より2名は教師、ハジャ氏、アンビ氏、ライナ氏



本会理事長の新田幸夫が少なくとも年2回現地に入ります。現地では村長のほか世話人たちと話し合いの場を設けます。小学校の教室です。入るとすぐに、彼らは井戸・トイレ建設そして小・中学校の校舎建設に対し深く感謝の意を表します。そして村長と住民たちは、なんとしても農作物の生産に力を入れ食生活を充実させたい。基礎体力が不足している現状ではそれしかない、と断言し協力を求めます。

《写真資料：井戸建設》



専門家が井戸建設に取り組み始めると、住民も協力します。井戸が完成するとそれぞれの井戸に責任者を割り当てることにしています。その責任者は本会の協力団体NGO サクラのメンバーです。アンタナナリボ大学の教員たちです。第4基はアンビ氏、第5基はファリ氏が責任者になりました。故障などがあれば彼らに対応します。その井戸を使用する住民とのコミュニケーションをとることも必要になります。



1) J-4 (責任者：アンビ)

2) J-5 (責任者：ファリ)



《写真資料：トイレ建設》





2014年8月：村の住民に事業の目的と「世界トイレの日」について話しました



井戸とトイレの建設は（公財）日本国際協力財団様から3年連続して助成していただきました。

マダガスカルは 90% が秃山？



地崩れが発生している箇所



バンに乗って現場まで



家族で参加



あらかじめ苗木を置いておく



高校生のグループ



中学生のグループ

植樹は、大人たちがあらかじめ準備しておきます。穴をあけ、そこに肥料を入れておきます。水は水桶に入れて苗木の近くにおきます。昼過ぎに大人や子供が友達同士で、また家族連れもやってきます。それぞれがグループになり、中学校の校長先生が開会宣言をすると、大人も子供も思い思いに苗木を手にして、目指す植栽現場に行き、丁寧に苗木を植えます。



子どもたちは懸命に大人が苗木を植えている手元を見て植え方を学んでいました。参加した子供たちは約300名。植樹は午後1時から3時までしました。



マダガスカル代表のライナ氏は思い出するように話しました。彼が小学校高学年の時に、大統領が国中の山に木がないから木を植えなさいと「命令」したので毎週土曜日に木を植えに山に入ったそうです。日本では、マダガスカルは自然の宝庫のようにテレビ放送されることもあります。



新田が参加した子供たちにインタビュー

ここ事業地は首都アンタナナリボから北西70kmのアナラマンガ地方フィハオナナ村です。標高1,600メートルです。

住民たちの声

Dofa(63)：数年前から木を植えている。自然環境がよくなった。緑が多くなった。99%の定着率。肥料はコンポストだ。みんなの力でがんばっている。

Tefy(20)：植林は楽しかった。みんな大事だと思っていることだ。自分は将来農業につきたい。近代農業の方法を身につけたい。

Danio(16)：自分は村の医者になりたい。植林はみんなでするからとても楽しいし、みんなで植林するから村は変わると思う。

Ginat(13)：今まで木を植えたことがあるが、みんなで植えると楽しい。

近畿大学 近畿大学 近畿大学

Hajanirina Rakotomanana

2014年9月から11月までの3か月間、私は京都大学に客員教授として赴任してきました。その任務が終わった11月下旬に、大阪の近畿大学医学部で、新田幸夫先生の講義「国際社会と日本」において「地球環境問題」と題してマダガスカル自然环境について話しました。これは、「保全生物学」と鳥類について知識を身につけるための講義です。



私たちがアイユゴーともに活動する「Madagascar Bird

Project」のキャンペーンの一つであります。この講義には100名以上の学生が出席しました。日本の学生は、海外のことに関する基礎的な知識を持つことを強く望んでいるようです。しかし、授業中は自分が当てられるまで、普通、口を開きません。自分の意見を言わずに静かにしていることに慣れているためなのかも知れません。私は最初、マダガスカルの大學生の前にいるような印象を受けました。私の発表内容を学生に注意深く聞いてもらうために、英語のスライドを用いましたが、日本語で話したので、私の意図は学生に明確に伝わったと思います。私が話した後、マダガスカルでの私の活動や鳥類保全の様々な点について意見や感想が出ました。この講義が近畿大学の学生たちの自然に対する知識と関心が広範なものになる契機となればと願っています。

このたびの私の日本訪問は実り多きものであり、近畿大学の学生や京都の学生との交流を通じて、日本の文化や言語をより深く理解することができました。



(左) 新田幸夫 (右) Hajanirina Rakotomanana

2014年度 特定非営利活動法人アイユゴー 会計収支計算書

科目	決算額 (単位 円)
I 収入の部	
1. 会費収入	
正会員	339,000
賛助会員	18,000
賛助法人	30,000
2. 募金・寄付金収入	
一般寄付	810,733
3. 自主事業収入	0
4. 助成金収入	
国土緑化推進機構	1,990,000
日本国際協力財団	1,500,000
6. 雑収入	0
収入合計 (A)	4,687,733
II 支出の部	
1. 事業費	
資機材費	2,647,100
現地移動費	493,500
現地事業運営費	623,150
スタッフ・専門家派遣経費	774,118
現地スタッフ経費	166,721
現地管理費	6,283
2. 管理費	
租税公課	3,000
保険料	5,240
事務費	24,786
雑費	15,744
経常支出合計	4,759,642
経常収支差額	-71,909
III その他の資金収入の部	
1. 受取利息	
普通預金利息	53
2. その他の事業会計からの繰入	0
その他資金収入合計	53
IV その他資金支出の部	
その他資金支出金額	0
当期収支差額	-71,856
前期繰越収支差額	-450,479
次期繰り越し収支差額	-522,335

私たちの海外における支援は、その地の人たちがその地の産業を持って経済的自立ができるように支えることにあります。ご協力よろしくお願ひします。

【感謝】

(特活) アイユゴー通信をご覧いただき、誠にありがとうございます。私たちは、自らの知識・技術・経験と奉仕の精神を持って、協力を必要とする人たちの自立を目指した開発援助を通じて、その地の文化を尊重理解し、草の根の友好親善と、自らの人間としての価値を高めることを目的とし活動します。貧しい人たち、困った人たちがいれ

ば、その人たちのそばに行ってみませんか。そして、何かできることがあれば、自分でしてみませんか。皆様のご参加・ご協力を心からお待ちしております。

e-mail : snittaskmj0715@yahoo.co.jp

HP : <http://aiyugo.fc2web.com>

【振込先】

[特定非営利活動法人 アイユーゴー 理事長 新田幸夫]

三井住友銀行 阿倍野支店 : 7,479,470

ゆうちょ銀行 : 00930-9-144252

発行 : 新田幸夫 編集 : 加藤鐘三 印刷 : (株) フジカク